

製品名: ATRIP (リン酸化 Ser224) ウサギポリクローナル抗体**カタログ番号: APRab04287**

研究使用のみ

概要

説明	ウサギポリクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	WB,IHC,ICC/IF,ELISA
反応性	ヒト、ラット、マウス
標識	非共役
修飾	リン酸化
アイソタイプ	IgG
クローン性	ポリクローナル
形態	液体
濃度	1mg/ml
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	50% グリセロール、0.5% 保護タンパク質、0.02% 新タイプ防腐剤 N を含む PBS 液。
精製	アフィニティー精製

応用

希釈倍率	WB 1:500-1:2000,IHC 1:100-1:300,ICC/IF 1:50-1:200,ELISA 1:5000-1:20000
分子量	86kDa

抗原情報

遺伝子名	ATRIP
別名	ATRIP; AGS1; ATR-interacting protein; ATM and Rad3-related-interacting protein
遺伝子 ID	84126.0
SwissProt ID	Q8WXE1
免疫原	抗血清は、Ser224 のリン酸化部位周辺のヒト ATRIP 由来の合成ペプチドに対して作製された。 アミノ酸範囲: 190-239

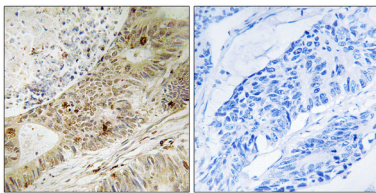
背景

この遺伝子は DNA 損傷チェックポイントの必須構成要素をコードしています。コードされているタンパク質は、複製タンパク質 A で

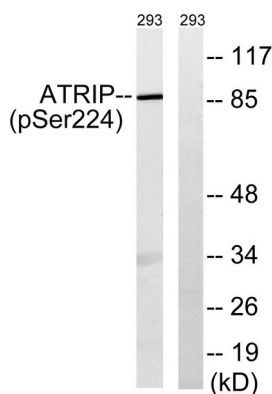
覆われた一本鎖 DNA に結合します。また、このタンパク質は毛細血管拡張性運動失調症および Rad3 関連タンパク質キナーゼと相互作用し、DNA 損傷によって誘発される核内病巣への蓄積を引き起こします。この遺伝子には、異なるアイソフォームをコードする複数の転写バリエーションが見つっています。[RefSeq 提供、2012 年 8 月];注意: このタンパク質の遺伝子は TREX1 の遺伝子と同一または隣接しています。ATRIP をコードする mRNA の中には、別の読み枠で TREX1 もコードしているものがあります。、ドメイン: EEXXXDDL モチーフは、触媒サブユニット PRKDC との相互作用、および DNA 損傷部位への PRKDC のリクルートメントに必要です。、機能: DNA 損傷後のチェックポイントシグナル伝達に必要です。ATR の発現に必要であり、おそらくタンパク質の安定化に関与する。、PTM:ATR によってリン酸化される。、配列注意:N 末端側が延長された翻訳。、類似性:ATRIP ファミリーに属する。、細胞内局在:DNA 損傷時に核内の特定のフォーカスに再分布する。、サブユニット:ATR とのヘテロ二量体。ヘテロ二量体は RPA 複合体に結合し、その後一本鎖 DNA にリクルートされる。CEP164 と N 末端を介して相互作用する。、組織特異性:普遍的。、

研究分野

画像データ



ATRIP (リン酸化 Ser224) 抗体を用いたパラフィン包埋ヒト大腸癌の免疫組織化学染色。右の写真はリン酸化ペプチドでブロッキングした状態。



UV 15 処理した 293 細胞ライセートの ATRIP (リン酸化 Ser224) 抗体を用いたウェスタンブロット解析。右レーンはリン酸化ペプチドでブロッキングされている。